



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部日本放送株式会社

コード番号 9402

URL <http://hicbc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉浦 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 南 直人

(TEL) 052-259-1322

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日

配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 34,046 | 0.3 | 2,418 | △13.0 | 2,829 | △11.2 | 1,693 | △14.1 |
| 2018年3月期 | 33,937 | 0.3 | 2,779 | △0.9 | 3,187 | 1.1 | 1,971 | △3.9 |

(注) 包括利益 2019年3月期 604百万円(△81.5%) 2018年3月期 3,273百万円(△8.8%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2019年3月期 | 64.16 | — | 3.1 | 4.0 | 7.1 |
| 2018年3月期 | 74.70 | — | 3.7 | 4.4 | 8.2 |

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 -百万円 2018年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 71,265 | 55,449 | 76.6 | 2,069.20 |
| 2018年3月期 | 71,641 | 55,462 | 76.3 | 2,070.50 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 54,623百万円 2018年3月期 54,658百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年3月期 | 2,853 | △1,118 | △1,091 | 12,424 |
| 2018年3月期 | 2,340 | △2,445 | △1,125 | 11,781 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年3月期 | — | 5.00 | — | 18.00 | 23.00 | 607 | 30.8 | 1.1 |
| 2019年3月期 | — | 5.00 | — | 15.00 | 20.00 | 527 | 31.2 | 1.0 |
| 2020年3月期(予想) | — | 5.00 | — | 15.00 | 20.00 | | 34.5 | |

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり当期純 利益 |
|-----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 34,220 | 0.5 | 2,080 | △14.0 | 2,500 | △11.6 | 1,530 | △9.7 | 57.96 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期 | 26,400,000株 | 2018年3月期 | 26,400,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期 | 1,435株 | 2018年3月期 | 1,233株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2019年3月期 | 26,398,670株 | 2018年3月期 | 26,398,784株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|-------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 4,613 | △0.9 | 1,554 | △11.1 | 1,891 | △8.7 | 1,767 | △8.0 |
| 2018年3月期 | 4,657 | 9.7 | 1,749 | 24.9 | 2,072 | 23.5 | 1,921 | 23.3 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2019年3月期 | 66.94 | | — | | | | | |
| 2018年3月期 | 72.79 | | — | | | | | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 63,398 | 52,138 | 82.2 | 1,975.06 |
| 2018年3月期 | 63,949 | 52,051 | 81.4 | 1,971.75 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 52,138百万円 2018年3月期 52,051百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|-------|
| 1. 経営成績等の概況 | P. 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | P. 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | P. 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | P. 4 |
| (4) 今後の見通し | P. 5 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | P. 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | P. 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | P. 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | P. 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | P. 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | P. 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | P. 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 14 |
| (表示方法の変更) | P. 14 |
| (セグメント情報等) | P. 14 |
| (1株当たり情報) | P. 17 |
| (重要な後発事象) | P. 17 |
| 4. その他 | P. 18 |
| 役員の異動 | P. 18 |
| 5. 参考資料 | P. 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円) |
|----------|--------------|---------------|---------------|------------------------------|
| 2019年3月期 | 34,046 | 2,418 | 2,829 | 1,693 |
| 2018年3月期 | 33,937 | 2,779 | 3,187 | 1,971 |
| 増減率(%) | 0.3 | △13.0 | △11.2 | △14.1 |

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善を背景に堅調に推移したものの、通商問題への懸念や海外経済の不確実性による影響もあって、先行き不透明な状況となっております。また、当社グループに影響を与えるテレビの広告市況につきましては、停滞気味に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループの当連結会計年度の売上高は、340億46百万円（前期比0.3%増）となりました。利益面では、営業利益は24億18百万円（前期比13.0%減）、経常利益は28億29百万円（前期比11.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は16億93百万円（前期比14.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

| | 放送関連 | | 不動産関連 | | その他 | |
|----------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) |
| 2019年3月期 | 30,709 | 1,229 | 1,747 | 1,076 | 1,590 | 112 |
| 2018年3月期 | 30,750 | 1,644 | 1,725 | 1,068 | 1,460 | 89 |
| 増減率(%) | △0.1 | △25.3 | 1.2 | 0.7 | 8.9 | 25.2 |

〈放送関連〉

当セグメントは、当社、(株)CBCテレビ、(株)CBCラジオ、(株)CBCクリエイションならびに(株)CBCコミュニケーションズで構成されます。

CBCグループの中核をなすテレビ事業については、当期の年間平均視聴率は、全日帯（6:00～24:00）が7.4%、ゴールデンタイム（19:00～22:00）が11.9%、プライムタイム（19:00～23:00）が11.8%と、いずれも前期に引き続き2位となりました。

ローカルの枠を超えて全国への展開を目指す情報生ワイド番組『ゴゴスマ～GOGO!Smile!～』（月～金曜 13:55～15:57放送）は、昨年10月に北海道地区、さらに今年4月からは岩手、富山、熊本地区で放送が始まり、これで放送エリアは1都1道18県に拡大しました。

また、情報生ワイド番組『なるほどプレゼンター！花咲かタイムズ』（土曜 9:25～11:30放送）は、11年連続で視聴率同時間帯1位となりました。

報道情報番組『イッポウ』（月～金曜16:50～19:00放送）は、「家族 つなぐ」をモットーに「最新ニュース」から「身近な生活情報」まできめ細かくお伝えしました。昨年の大雨や台風の報道では、テレビ放送と併せインターネットでもライブ配信し、より詳細な災害情報を伝えるとともに、メディアの多様化への取り組みも推し進めました。

また、今年4月からは『チャント！』（月～金曜15:49～19:00放送）をスタートさせ、『イッポウ』の視聴者を維持しつつ、更なる視聴者層の拡大を目指します。

一方、ラジオ事業は、「トークって近い」というメッセージのもと、リスナーに最も近く、地域に寄り添った番組を展開し、6月と12月の中京圏ラジオ個人聴取率調査（12才～74才）で総合1位を獲得しました。恒例の『CBCラジオ夏まつり2018』（7月）や、2年目となる『春の終活文化祭～シニアにエール～』（3月）などのイベントも盛況を博しました。また、ドキュメンタリー『最期への覚悟』が、第55回ギャラクシー賞ラジオ部門において、CBC制作の番組では初めてとなる大賞を受賞しました。

このほか、CBCのメディア価値向上につながる企画・イベントにも取り組みました。明治期の皇室を彩った調度品などを展示した展覧会『明治150年記念 華ひらく皇室文化 明治宮廷を彩る技と美』（4月～5月）は大きな話題を呼び、その後、秋田、京都、東京の各地でも開催されました。また、男子ゴルフの『第59回中日クラウンズ』（4月）、名古屋を代表するクラシックの祭典『第41回名古屋国際音楽祭』（4月～7月）をはじめとしたさまざまなイベントを実施し、いずれも多くのお客様を集めました。

このような事業活動等を展開した結果、テレビのタイム収入やイベント収入が増加し、さらに『ゴゴスマ』の放送エリア拡大に伴う番組販売収入も増加しました。しかし、その一方で、名古屋地区へのスポット投下量が前期を下回る状況の下、テレビスポット収入が減少したことから、「放送関連」の売上高は307億9百万円（前期比0.1%減）となりました。

利益面では、テレビのタイム収入の増加による増益効果はあったものの、利益率の高いテレビスポットの減収により、営業利益は12億29百万円（前期比25.3%減）となりました。

〈不動産関連〉

当セグメントは、当社と㈱千代田会館ならびに㈱CBCビップスで構成されます。

「不動産関連」は、東京及び名古屋駅エリアの賃貸ビルにおける収入が増加となったことから、売上高は17億47百万円（前期比1.2%増）となりました。利益面では、東京の賃貸ビルにおいて修繕費が増加したものの、増収効果により営業利益は10億76百万円（前期比0.7%増）となりました。

〈その他〉

ゴルフ場事業を営む㈱南山カントリークラブ、保険代理業などを営む㈱CBCビップスならびにタクシー業を営む文化交通㈱で構成される「その他」は、売上高が15億90百万円（前期比8.9%増）、営業利益は1億12百万円（前期比25.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の部

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べて3億76百万円減少し、712億65百万円となりました。

主な減少要因として、保有株式の時価下落などに伴い投資有価証券が8億22百万円減少しております。また、主な増加要因として、現金及び預金が5億42百万円増加しております。

②負債の部

当連結会計年度末における負債は3億63百万円減少し、158億15百万円となりました。

固定資産取得に伴う未払金が増えたため流動負債の「その他」が4億92百万円増加しましたが、一方で保有株式の時価下落などに伴い繰延税金負債が4億81百万円、長期預り保証金が4億57百万円それぞれ減少したことなどにより、負債全体では減少となりました。

③純資産の部

当連結会計年度末における純資産は13百万円減少し、554億49百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益と配当金の支払いとの差額により利益剰余金が10億86百万円増加しましたが、一方で保有株式の時価下落に伴いその他有価証券評価差額金が10億78百万円、退職給付に係る調整累計額が42百万円それぞれ減少したことにより、純資産全体では減少となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

| | 2018年3月期 (百万円) | 2019年3月期 (百万円) | 増減額 (百万円) |
|------------------|-------------------|-------------------|--------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,340 | 2,853 | 512 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,445 | △1,118 | 1,326 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,125 | △1,091 | 33 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △1,229 | 642 | 1,872 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,010 | 11,781 | △1,229 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 11,781 | 12,424 | 642 |

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて6億42百万円増加し、124億24百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は28億53百万円となりました。これは、法人税等の支払額が13億85百万円あった一方で、税金等調整前当期純利益27億83百万円や減価償却費12億80百万円をそれぞれ計上し、さらに法人税等の還付額が3億3百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は11億18百万円となりました。これは、有価証券の償還による収入が2億円あった一方で、投資有価証券の取得による支出が8億72百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出が5億50百万円それぞれあったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は10億91百万円となりました。これは、配当金の支払額6億5百万円や預り保証金の返還による支出5億8百万円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

次期の日本経済は、設備投資の増加や雇用環境の改善が続くなか、堅調に推移することが期待されるものの、通商問題への懸念や海外経済の不確実性などによる影響もあって、先行き不透明な状況が続くものと見ております。

当社グループに影響を与えるテレビの広告市況につきましても、予断を許さない状況が続くと予想しております。

このような事業環境の下、売上高は、テレビ事業においてタイム収入は減少となるものの、スポット収入や番組販売収入が増加することにより増収を見込んでおります。利益面では増収効果による利益の押し上げはあるものの、テレビのタイム収入減少の影響に加え、自社制作番組の増加によるテレビ番組費増加や、減価償却費の増加などにより、減益になるものと見込んでおります。

以上により、2020年3月期の通期連結業績につきましては、売上高342億20百万円、営業利益20億80百万円、経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益15億30百万円を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、放送という公共性の高い事業の性格上、長期にわたり安定した経営基盤を確保することが重要と考えております。

こうしたことから、利益配分に関しましては、安定配当の継続を基本としつつ、さらに、株主の皆さまへの利益還元重視を明確にするため、毎期の業績に連動することとしております。

この方針に基づき、配当金は親会社株主に帰属する当期純利益（連結）の30%を目安とした配当性を基準とし、また安定配当性を維持するため、1株当たりの年間配当金は10円を下限といたしております。

当事業年度の配当につきましては、この基本方針と当事業年度の業績動向等を総合的に勘案し、1株当たり年間20円といたします。中間配当を1株当たり5円を実施しておりますので、期末配当は1株当たり15円となります。

また、今後も原則として、中間配当として9月30日、期末配当として3月31日を基準日とした年2回の配当を継続する方針です。配当の決定機関は、中間配当は取締役会、期末配当は株主総会であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、開示情報の期間及び企業間の比較可能性を確保することが重要であると認識していることから、今後とも日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,298 | 10,841 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,616 | 7,630 |
| 有価証券 | 200 | — |
| たな卸資産 | 67 | 66 |
| その他 | 3,639 | 3,705 |
| 貸倒引当金 | △0 | — |
| 流動資産合計 | 21,821 | 22,243 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 28,980 | 29,074 |
| 減価償却累計額 | △17,831 | △18,349 |
| 建物及び構築物（純額） | 11,148 | 10,725 |
| 機械装置及び運搬具 | 18,667 | 19,079 |
| 減価償却累計額 | △16,284 | △16,341 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,383 | 2,738 |
| 土地 | 13,321 | 13,321 |
| 建設仮勘定 | 38 | 19 |
| その他 | 1,571 | 1,612 |
| 減価償却累計額 | △1,248 | △1,291 |
| その他（純額） | 323 | 320 |
| 有形固定資産合計 | 27,215 | 27,125 |
| 無形固定資産 | 482 | 409 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 19,687 | 18,864 |
| 繰延税金資産 | 2,113 | 2,170 |
| その他 | 454 | 584 |
| 貸倒引当金 | △133 | △133 |
| 投資その他の資産合計 | 22,122 | 21,486 |
| 固定資産合計 | 49,820 | 49,021 |
| 資産合計 | 71,641 | 71,265 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 187 | 244 |
| 未払費用 | 2,983 | 2,955 |
| 未払法人税等 | 490 | 495 |
| 役員賞与引当金 | 27 | 31 |
| その他 | 1,652 | 2,144 |
| 流動負債合計 | 5,340 | 5,871 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 2,423 | 1,941 |
| 役員退職慰労引当金 | 26 | 22 |
| 永年勤続表彰引当金 | 26 | 25 |
| 退職給付に係る負債 | 3,218 | 3,322 |
| 資産除去債務 | 73 | 75 |
| 長期預り保証金 | 4,901 | 4,444 |
| 長期前受収益 | 91 | 33 |
| その他 | 75 | 78 |
| 固定負債合計 | 10,838 | 9,944 |
| 負債合計 | 16,179 | 15,815 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,320 | 1,320 |
| 資本剰余金 | 654 | 654 |
| 利益剰余金 | 49,073 | 50,159 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 51,046 | 52,132 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,529 | 5,450 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △2,917 | △2,959 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,612 | 2,490 |
| 非支配株主持分 | 803 | 825 |
| 純資産合計 | 55,462 | 55,449 |
| 負債純資産合計 | 71,641 | 71,265 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 売上高 | 33,937 | 34,046 |
| 売上原価 | 17,890 | 18,418 |
| 売上総利益 | 16,046 | 15,628 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,266 | 13,209 |
| 営業利益 | 2,779 | 2,418 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 9 |
| 受取配当金 | 367 | 380 |
| 雑収入 | 75 | 56 |
| 営業外収益合計 | 451 | 446 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 37 | 27 |
| 雑損失 | 6 | 8 |
| 営業外費用合計 | 44 | 35 |
| 経常利益 | 3,187 | 2,829 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 27 |
| 特別利益合計 | — | 27 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 6 | 49 |
| 固定資産除却損 | 32 | 23 |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 40 | 73 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,147 | 2,783 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,182 | 1,098 |
| 法人税等調整額 | △39 | △40 |
| 法人税等合計 | 1,143 | 1,058 |
| 当期純利益 | 2,003 | 1,725 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 31 | 31 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,971 | 1,693 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 当期純利益 | 2,003 | 1,725 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 882 | △1,078 |
| 退職給付に係る調整額 | 386 | △42 |
| その他の包括利益合計 | 1,269 | △1,121 |
| 包括利益 | 3,273 | 604 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 3,241 | 572 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 31 | 31 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,320 | 654 | 47,708 | △0 | 49,681 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △607 | | △607 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,971 | | 1,971 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,364 | △0 | 1,364 |
| 当期末残高 | 1,320 | 654 | 49,073 | △0 | 51,046 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 5,646 | △3,304 | 2,342 | 781 | 52,806 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △607 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 1,971 |
| 自己株式の取得 | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 882 | 386 | 1,269 | 21 | 1,291 |
| 当期変動額合計 | 882 | 386 | 1,269 | 21 | 2,656 |
| 当期末残高 | 6,529 | △2,917 | 3,612 | 803 | 55,462 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,320 | 654 | 49,073 | △0 | 51,046 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △607 | | △607 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,693 | | 1,693 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,086 | △0 | 1,086 |
| 当期末残高 | 1,320 | 654 | 50,159 | △0 | 52,132 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 6,529 | △2,917 | 3,612 | 803 | 55,462 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △607 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 1,693 |
| 自己株式の取得 | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,078 | △42 | △1,121 | 21 | △1,099 |
| 当期変動額合計 | △1,078 | △42 | △1,121 | 21 | △13 |
| 当期末残高 | 5,450 | △2,959 | 2,490 | 825 | 55,449 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|----------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,147 | 2,783 |
| 減価償却費 | 1,331 | 1,280 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △12 | △0 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 0 | 3 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 0 | △3 |
| 永年勤続表彰引当金の増減額 (△は減少) | △0 | △1 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △880 | 39 |
| 受取利息及び受取配当金 | △376 | △389 |
| 支払利息 | 37 | 27 |
| 固定資産除却損 | 33 | 28 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △3 | △0 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △27 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 6 | 49 |
| 会員権評価損 | — | 1 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △42 | △14 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △3 | 0 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △10 | 56 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 93 | △105 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | 180 | △109 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △64 | △68 |
| 小計 | 3,436 | 3,549 |
| 利息及び配当金の受取額 | 378 | 393 |
| 利息の支払額 | △12 | △8 |
| 法人税等の支払額 | △1,774 | △1,385 |
| 法人税等の還付額 | 311 | 303 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,340 | 2,853 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,754 | △1,754 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,754 | 1,754 |
| 有価証券の償還による収入 | 200 | 200 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,491 | △550 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 3 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,225 | △872 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 93 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 116 | 18 |
| 信託受益権の取得による支出 | △100 | △400 |
| 信託受益権の償還による収入 | — | 500 |
| 長期貸付けによる支出 | △4 | — |
| 長期貸付金の回収による収入 | 0 | 0 |
| その他の支出 | △22 | △118 |
| その他の収入 | 79 | 9 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,445 | △1,118 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 預り保証金の預りによる収入 | 27 | 32 |
| 預り保証金の返還による支出 | △536 | △508 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △606 | △605 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △10 | △10 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,125 | △1,091 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,229 | 642 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,010 | 11,781 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 11,781 | 12,424 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」380百万円及び「固定負債」の「繰延税金負債」のうちの30百万円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」2,113百万円に含めて表示し、「固定負債」の「繰延税金負債」は2,423百万円として表示しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、テレビおよびラジオの放送事業を中心に、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業内容を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「放送関連」、「不動産関連」の2つを報告セグメントとしております。また、「放送関連」には当社と子会社4社を、「不動産関連」には当社と子会社2社をそれぞれ集約しております。

「放送関連」は、放送法によるテレビおよびラジオの放送を行い、放送時間の販売ならびに番組の制作・販売を主な事業とし、これに付帯する事業を営んでおります。また、広告代理業を行っております。

「不動産関連」は、不動産の賃貸・管理ならびに太陽光発電事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------|-----------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------|
| | 放送関連 | 不動産 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 30,750 | 1,725 | 32,476 | 1,460 | 33,937 | — | 33,937 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 133 | 154 | 288 | 791 | 1,079 | △1,079 | — |
| 計 | 30,884 | 1,880 | 32,764 | 2,252 | 35,016 | △1,079 | 33,937 |
| セグメント利益 | 1,644 | 1,068 | 2,712 | 89 | 2,802 | △23 | 2,779 |
| セグメント資産 | 27,353 | 14,223 | 41,576 | 5,427 | 47,004 | 24,637 | 71,641 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,048 | 235 | 1,284 | 47 | 1,331 | △0 | 1,331 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 484 | 56 | 541 | 38 | 579 | — | 579 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去額です。

(2) セグメント資産の調整額24,637百万円には、主に各報告セグメントに配分していない全社資産25,363百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金(現預金、有価証券及び信託受益権)、長期投資資金(投資有価証券及び会員権)であります。

3 セグメント利益2,802百万円は、連結損益計算書の営業利益2,779百万円と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------|-----------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------|
| | 放送関連 | 不動産 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 30,709 | 1,747 | 32,456 | 1,590 | 34,046 | — | 34,046 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 150 | 154 | 305 | 817 | 1,122 | △1,122 | — |
| 計 | 30,859 | 1,901 | 32,761 | 2,407 | 35,169 | △1,122 | 34,046 |
| セグメント利益 | 1,229 | 1,076 | 2,305 | 112 | 2,417 | 0 | 2,418 |
| セグメント資産 | 27,379 | 14,205 | 41,585 | 5,563 | 47,148 | 24,116 | 71,265 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,004 | 230 | 1,234 | 45 | 1,280 | △0 | 1,280 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 1,121 | 16 | 1,137 | 24 | 1,162 | — | 1,162 |

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりです。
- (1) セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。
- (2) セグメント資産の調整額24,116百万円には、主に各報告セグメントに配分していない全社資産25,041百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金(現預金及び信託受益権)、長期投資資金(投資有価証券及び会員権)であります。
- 3 セグメント利益2,417百万円は、連結損益計算書の営業利益2,418百万円と調整を行っています。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| (1) 1株当たり純資産額 | 2,070円50銭 | 2,069円20銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 純資産の部の合計額(百万円) | 55,462 | 55,449 |
| 普通株式に係る純資産額(百万円) | 54,658 | 54,623 |
| 差額の内訳(百万円) | | |
| 非支配株主持分 | 803 | 825 |
| 普通株式の発行済株式数(千株) | 26,400 | 26,400 |
| 普通株式の自己株式数(千株) | 1 | 1 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株) | 26,398 | 26,398 |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| (2) 1株当たり当期純利益 | 74円70銭 | 64円16銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 1,971 | 1,693 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 1,971 | 1,693 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 26,398 | 26,398 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

本日、別途開示しております。

5. 参考資料

(株)CBCテレビ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

| | 前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 増減 | |
|------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|-------------|--------------|
| | 金額 | 金額 | 金額 | 増減率 |
| テレビ収入 | 24,324 | 24,020 | △303 | △1.2 |
| タイム収入 | 6,842 | 7,158 | 315 | 4.6 |
| スポット収入 | 16,850 | 16,110 | △740 | △4.4 |
| その他収入 | 630 | 751 | 120 | 19.2 |
| クロスメディア収入 | 790 | 805 | 14 | 1.9 |
| イベント収入 | 876 | 1,009 | 132 | 15.2 |
| ハウジング収入 | 838 | 856 | 18 | 2.2 |
| グループ請負収入 | 264 | 192 | △72 | △27.4 |
| 合計 | 27,093 | 26,883 | △209 | △0.8 |

(株)CBCラジオ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

| | 前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 増減 | |
|----------------|----------------------------------------|----------------------------------------|-----------|-------------|
| | 金額 | 金額 | 金額 | 増減率 |
| ラジオ事業収入 | 2,428 | 2,424 | △4 | △0.2 |
| タイム収入 | 1,404 | 1,419 | 15 | 1.1 |
| スポット収入 | 998 | 987 | △11 | △1.1 |
| その他収入 | 25 | 16 | △8 | △33.5 |
| 受託事業収入 | 356 | 359 | 2 | 0.8 |
| 合計 | 2,785 | 2,783 | △1 | △0.0 |